

=市全体、各学校、子ども達、関係者の様子をお届け=

CS通信 6号

一名護市教育委員会 令和6年1月23日発行



CS推進スローガン（導入期）

学校・家庭・地域みんなが子どもたちの「せんせい」です

第6号テーマ

学校×企業×地域 = ∞

～キャリア教育ゆんたく会～

第2回キャリア教育に係る地域連携研究会が11月14日に名護市博物館で開かれました。小中高のキャリア教育担当教員、近隣事業所、地域コーディネーターが参加し、それぞれの想いや取り組み状況を共有。学校は「子どもたちにどんな力を身につけさせたいか？」企業は「子どもたちに身につけてほしい力は？」など「子どもたち」を話題のまんなか、お互いリアルな現状を交えながらゆんたく！話ははずみ、学校と企業がタイアップしてできること、学年を意識しつつできそうなことややりたいアイデアが次々と出てきました。



過去最高の13事業所が参加！！

つながることで広がる可能性

「県キャリア教育で身につけてほしい力（か・ふ・や・み）」を意識し、学校側と企業側の想いを知る・聞く・伝えることの重要性を肌で感じることができました。やりたいこと、できそうなことが参加者の胸に少しずつ見え始めました。

さあ次は...

- か... かかわる力
- ふ... ふり返る力
- や... やりぬく力
- み... みとおす力

参加者の声

(教員)

- 「意見の交換・共有」がこんなにも大事で有意義なものを知ることができた。
- 企業の方と意識共有する機会がなかったのでもってよかった。
- 子どもたちのために大人が繋がる→繋がりを子どもたちへ繋げる・子どもたちを繋げる→企業と学校思いは一緒！
- 学校での取組が間違っていないことが確認でき、自信につながった。
- 企業側がどんなことができるのか知らなかった。共有できる場が必要。
- 地域が一つになって子どもたちを育てることが大事だと改めて考えさせられた。

(企業)

- 先生方が考えていることが知れてよかった。こういう機会がもっとほしい。
- 実際の現場から、目の前で起きている情報共有が必要。少子高齢化問題を直視し問題解決のためにみんなで協力していきたい。
- 「か・ふ・や・み」を知った上で、子どもたちと関わると、伝える内容も変わってくるような気がする。交流するのが楽しみ。
- 各企業が学校との関わり（プログラム等）を紹介し、先生方からアドバイスをもらいたい。
- 名護市の未来は明るい！

～教育委員会より～
○「キャリア教育」で身に付けたい力をどう意識化させ、育むのか？
○キャリアパスポートの改善について

↓

～グループでゆんたく会～
○自己紹介、アイスブレイク
○それぞれ子どもたちへの想い、取り組み状況の共有
○学校と企業がコラボしてできることをゆんたく

↓

～グループ発表(全体共有)～
発表内容例
①：学校では教えてくれないお金の流れ、しくみ
②：屋部地域の魅力発見(川・海・山・芸能..etc.)
③：国際理解(世界の中の一人として考えるには)



当日の様子→ → → → →
①教育委員会より説明
②③ゆんたく会の様子
④⑤グループ発表(全体共有)



CS通信ってなに？

1. 名護市全体でのCS推進の取組み発信
2. 各学校でのCSの取組み発信
3. 地域と連携した授業の様子を共有
4. 子ども達の地域に根差した活動を発信

